

世界を知るシリーズ 第15回 犬島前国連大使講演会 「日本と国連」

ログハウス委員会では、6月13日、世界を知るシリーズ第15回に前国連大使の大島賢三氏を講師としてお迎えし、「日本と国連」という演題で、講演いただきました。

定員80人のところ、当日参加の方もいっしょに、90人を超える参加者で、ログハウスの大ホールは熱気に包まれました。控えめで、自分に与えられていた任務を的確に公平に遂行されていたご様子であります。合気道で鍛えられているという日本文化も懐にお持ちの前大使の、世界の開発と繁栄に向けたこれまでの取り組みには熱いものを感じたところです。

日本と国連の役割や、世界の中での日本という、グローバルな視点からの話は、興味深いものがありました。また、日本は国連への高額の拠出金を出しているにもかかわらず、常任理事国入りしない訳なども納得のいくもので、これから私たち日本がやらなければならない部分も多くあり、勉強になりました。

例えば、自衛隊のPKO参加や、国際公務員を職として選ぶこと。さらには、さまざまな国際機関の中で、日本人職員の少なさなど(現在はユネスコの局長のみとのこと)。身近なところでは日本人の英語力。若い方が聴けば、本当に将来の道しるべになるようなお話



も織り込まれていて、1時間半もあっという間でした。

質問に答える形でしたが、ご自分の人生を振り返り、高校生の時に1年間ミネソタで暮らしてそれが刺激になって「外務省」を目指したのかな。という志の原点を聴き、もう少し、前大使の個人的な部分も知りたいと思ったのは、私だけではなかったでしょう。

現在はJICA副理事長としてその能力を発揮されているとのこと。益々のご活躍と、私たち日本のためにその能力を発揮されることをお祈りいたしまして、感謝とともにペンを置きます。

2009年度上半期主な事業

- | | |
|---|---|
| 4.11 英語でおしゃべり パート3 | 6.20 ABCで遊ぼう |
| 4.26 MIFA理事会 | 6.20 ようこそ守谷へ2009 |
| 4.26 中国語でおしゃべり | 7.25・26 JICA研修員ホームステイ |
| 5.13 日本語講師のためのレベルアップ研修会 | 8.22・23 北守谷地区夏祭り出店 |
| 5.20~ 第43回外国人のためのボランティア日本語講座 (7.22 修了式) | 8.29・30 きらめき守谷夢彩都フェスタ2009出展 |
| 5.31 WELCOME to MIFA | 9. 9・16 ボランティア講師のための講習 |
| 5.31 MIFA総会 | 9.12 英語でおしゃべり パート4 |
| 6.13 大島賢三前国連大使講演会 | 9.27 第12回MIFAフェスタ2009「われら地球人」 |
| | 9.30~ 第44回外国人のためのボランティア日本語講座 (12.2 修了式予定) |

一緒に
活動しませんか



専門委員会へのお誘い

総務委員会

総務委員会の担当は、各委員会との連絡調整、他団体との交流、協会運営に関することで、独自の事業としては国際理解ワーキンググループの運営を行なっています。そのほかに、会費の徴収、会員名簿の管理、ボランティア名簿の管理、パソコン・電話・ファクシミリの管理などの庶務的な業務、市の行事や他の委員会に属さない事業の企画・運営など、MIFAの全般的な業務を行なっています。

庶務的な業務以外の具体的な事業としては、実行委員会形式で行なう「MIFAフェスタ」「イヤードパーティ」の企画・運営、市などの他の団体が行

なう「きらめき守谷夢彩都フェスタ」「ようこそ守谷へ」への出展、他の国際交流団体との交流の企画があります。

総務委員会に所属すると、MIFA全体の動きがよくわかります。毎月第1土曜日の運営委員会前の時間を使い、午後5時からログハウス事務室で委員会を行なっています。ぜひ、委員会をのぞきにきて下さい。



2009.5.31 Welcome to MIFA

都市交流委員会

都市交流委員会は、次の3事業を企画・運営しています。ただし、それにこだわる事なく新しい活動も模索しています。

基本的に第3土曜日の午後に委員会を開催しており、年齢層も多様にわたり、自分に出来る範囲で、楽しくを基本に活動しておりますので気楽に参加してもらいたいと思っています。

●姉妹都市との交流

ドイツ連邦共和国マインブルク市及びアメリカ合衆国グリーリー市との市民交流の促進

●近隣在住外国人との交流

MIFAサロン（ブラジル移民のお話、キムチ作りなど）

●ホームステイ事業

ホームステイの機会を提供し、日本の文化・生活体験をしてもらい、国際交流を促進する。

（JICA研修員や筑波大学外国人留学生の短期受け入れなど）



2005.2.20 MIFAサロン「キムチ作り」

語学研修委員会

外国語にかかわる取り組みをする委員会です。

●「英語でおしゃべり」

難しい文章の英語を本で学ぶ古い方法をとらず、やさしい単語で自分が言いたい事を話せるように準備された集まりです。歌・ゲームや小グループでテーマを決めディスカッションするコーナーもあります。4回目を9月12日に行ないました。

●「中国語でおしゃべり」

多数の中国の方の協力を得て開かれました。中国伝統楽器二胡の演奏も飛び出し、なごやかに盛り上がりました。

●「ABCで遊ぼう」

子ども向けの取り組みにたくさんの親子が集まりました。英語を習った事もない子どもたちも英語だけのリードで、楽しんでいました。

こんな催しをして欲しいというリクエストや、こういう事なら私も手伝えるという事がありましたら、ぜひお申し出ください。

私たちは参加型の委員会です。いっしょに楽しい集まりの企画に参加しませんか。



2009.6.20 ABCであそぼう

日本語講座委員会

日本語講座委員会は、馴れない日本での生活をしている外国人の方々に、一日でも早く環境に親しめるよう、「外国人のためのボランティア日本語講座」を開催しています。

「ボランティア日本語講座」は年に3度開催しており、1講座は原則10日間（毎週水曜日に開催）で構成されています。また、開催場所は守谷市国際交流研修センター（ログハウス）を使用しています。

受講生は、アメリカ、ブラジル、中国、ドイツ、インドネシア、タイなど多彩な国々から日本に来られた方々で、皆さんは日本語を早く上手になろうと

熱心に講習会に参加しています。

講師は、特段の資格を必要としていませんが、年に数回開催される日本語講座委員会主催の「日本語ボランティア講師のための勉強会」に参加されて、教授法のスキルアップをされている方もいます。

講習会を通して、講師と受講生との信頼関係ができますので、ぜひ、皆様も「外国人のためのボランティア日本語講座」に参加をしてください。



2007.3.14 日本語講座

ログハウス委員会

ログハウス委員会は、MIFAの活動拠点である「ログハウス」を活用し、二つの事業を企画・運営しています。

●世界を知るシリーズ

イスラエル・南アフリカ・エチオピア・チェコ等駐日大使本人の講演会をこれまで15回開催しました。今年は大島賢三前国連大使から国連での日本の立場を直接伺うことができました。大使館主催のパーティーやバザー等に招待されることもあります。

●世界を知ろう

「MIFAコンサート」と「国際交流に関する講演

会」を隔年で交互に開催します。コンサートは過去12回毎年開催してきましたが、3年前から隔年にし、コンサートを開催しない年は市の国際交流員等の講演会を開催することにしました。コンサートはルーマニア合唱団やアフリカ・ウクライナ・モンゴル等民族楽器を使った伝統的な民族音楽を企画しています。

企画の段階から一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。



2007.11.24 チェコ大使講演会

青年交流委員会

青年交流委員会は、昨年度（平成20年度）はエコキャップの回収（4面参照）やマインブルグ市民とスポーツ交流をしたりしました。

「海外から来た方に限らず、委員会を通じて知り合ったたくさんの人たちも、自分の大きな財産になることは間違いありません。（穂苺彩菜 談）」

守谷市に限らず、学生に限らず、いろいろな人と交流や人間関係を作ることができます。もちろん！自分の友達を学校や守谷市以外から青年交流委員会に加入してもらっても構いません♪

その際に、チェキでの写真登録やプロフィール用紙を記入してもらっています。みんなが新しい人や途中から入った人が分かるようにして、いつでも気軽に参加できるようにするためのご協力として、必ずお願いしています。

それ以外にも昨年度の委員会でスリランカの話聞いて援助の話や実際に視察してみたいといろいろな意見が出ました。それを今年度は具体的にどうするかなどを皆で検討してもいいと思いますし、基本的には、皆であれをやろう！これはどう？など自由に意見を出し、それを全員で分担しやってみましょう。

「去年のように活動的であってほしい。その為には、役員でなくてもそれぞれが青年交流委員としての自覚と責任を持ち積極的に行動し、企画を提案して楽しんでほしい。（大曽根舞 談）」



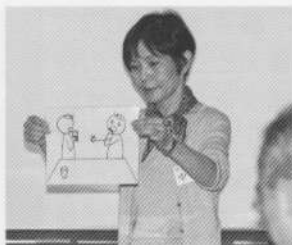
2009.2.7 定例委員会

日本語ボランティア講師のための勉強会

5月13日と9月9日、16日の2回、日本語ボランティア講師のための勉強会が開催されました。

茨城県日本語教育アドバイザーを講師にお願いしたもので、講習内容は非常に分かりやすく、受講した人からも好評を得ました。

日本語講座が続けられるのも講師たちのこうした地道な努力があればこそ。在住外国人支援の一つの在り方として、今後も続けていきたい事業です。



北守谷地区夏祭り

例年、青年交流委員会が主体となって行なっている北守谷地区夏祭り出店。今年はヨーヨーつりや飲み物販売で参加しました。今年マインブルク市へ行った青少年海外派遣団の子



ども達のMIFAの行事初参加です。この子ども達の中から、これからのMIFAを担うメンバーが出ることを期待しています。

エコキャップ回収御礼

昨年から青年交流委員会が始めたエコキャップの回収。7月末までに37,600個を回収しました。800個でポリオワクチン1人分が購入できます。ご協力ありがとうございました。

「英語でおしゃべり」パート4

9月12日、「英語でおしゃべり」パート4が、ログハウスで行なわれました。

今回のテーマは、「裁判員制度」。ほかにゲームとして「この夏、何をした？」など前3回に負けない濃い内容でしたが、参加した人たちもだいぶ慣れてきたのが、ディスカッションも大いに盛り上がっていました。

協力頂いているネイティブスピーカーの都合もあって、いきなりディスカッションに入りましたが、参加者のレベルの差もあまり大きくなく、リーダーの人の慣れもあり、うまく運営することができました。



者者のレベルの差もあまり大きくなく、リーダーの人の慣れもあり、うまく運営することができました。

JICA ホームステイ



今回のゲストは5人（ネパール、エチオピア、メキシコ、バングラデシュ、グアテマラ）でした。

研修員のお国自慢はDVDを使ったりして、分かりやすいもので、皆さんには和太鼓を体験していただくなど楽しんでもらえ

たと思います。

●ホストファミリーの感想

- ・ネパール人は箸が使えるという先入観があったが、ナイフとフォークを使って食べたので驚いた。
- ・いつも思うことだが、いろいろな国の人と話せてとても楽しい勉強になる。その都度新鮮だ。
- ・5日前にゲストが決まったので準備不足になって残念。せめて10日前には知らせてほしい。
- ・いつもの生活にゲストが加わるだけで特別なことはしなかったが、楽しんでもらえてよかった。

きらめき 守谷夢彩都フェスタ2009

8月29日、30日の二日間、守谷駅西口広場を会場にきらめき守谷夢彩都フェスタが行なわれました。

今年はMIFAのPRだけでなく、不用品を持ち寄りバザーを行ない寄付金も含め17,116円が集まりました。この売り上げはユネスコを通じ、世界の恵まれない子どもへ贈られます。例えば、10,000円でマラリア防止用の蚊帳が19張り、5,000円では40人分の学用品と教材セットなどです。

これからも機会があれば支援を続けていきます。



ラオス舞踊団 12月13日◎ との交流会

舞踊の共演
午後1時30分～4時
交流会
午後4時～6時

21世紀東アジア青少年大交流計画の一環として、日本とメコン流域諸国の幅広い分野での交流を促進する「日



メコン交流年 2009」。その公式イベントとして、伝統芸能分野における交流が実施され、MIFAは、来日する舞踊団のうちラオス国立音楽舞踊団10人を受け入れます。